

2016 年 11 月 18 日

CA Technologies、アプリケーション管理とモニタリングの 敏しように性を向上させ DevOps の高速化を実現

～インテリジェント・アナリティクス、シンプルな管理を実現する
クラウド・サービス、仮想ネットワークが統合された新機能を追加～

(本資料は、2016 年 11 月 16 日 CA World' 16 にて米 CA が発表した情報の抄訳です)

(2016 年 11 月 16 日、ラスベガス発 — CA World '16)

CA Technologies (本社: 米国ニューヨーク州アイランディア市、CEO: マイケル・グレゴア) は、CA の DevOps ポートフォリオへの新機能を発表しました。動的に変化するアプリケーション、インフラストラクチャ、およびネットワーク全体にわたるユーザ・エクスペリエンスを向上させるため、開発から生産までのサポート技術(クラウドからデバイス間のすべて)を追加しています。

CA の中核的な製品ポートフォリオであり、アプリケーションやインフラストラクチャのモニタリング製品における新しい機能のリリースは、高品質のアプリケーションのイタレーション(反復開発)を加速し、DevOps チームのコラボレーションを促進し、ソフトウェアのリリース期間を短縮します。これは [CA Application Performance Management](#) (CA APM)、[CA Performance Management](#)、および [CA Virtual Network Assurance](#) に機能拡張と新たな統合機能を追加することで実現しました。

CA Technologies Agile Operations 担当 ゼネラル・マネージャ Ali Siddiqui

CA は、企業が最新で統合化されたソフトウェア・サービスをユーザーに提供することを支援します。CA では、静的な業務プロセスやアプリケーション以外もサポートすることが可能で、マルチ・クラウド・アプリケーション/サービスのイノベーションのスピードに対応するため、必要なエンドツーエンドの可視性と自動化機能を IT 運用に提供しています。

エクスペリエンス・インテリジェンスと先進的アプリケーション管理のためのリアルタイム・インサイト、自動化ワークフロー、クラウド・コネクタの機能強化

CA APM の新規/[拡張アナリティクス機能](#)は、最新のインタフェースとともに、クラウド、モバイル、オンプレミスのアプリケーション全般にわたってユーザ・エクスペリエンスのモニタリングを向上させています。CA APM は習得がしやすく、アプリケーションの問題を予測的にユーザーに示す機能があるため、時間と専門家の必要性を大幅に削減します。

さらに、CA APM と最近発表された [CA App Experience Analytics](#) との統合によって、複数のデジタル・チャネルで信頼できる顧客エクスペリエンスを実現できるようになりました。ウェブ、モバイル、およびウェアラブル・アプリケーションのユーザ・エクスペリエンス、アプリケーション・パフォーマンス詳細の全体的な健全性に対して包括的なインサイトを得ることができます。この結果、あらゆる潜在的なパフォーマンスの問題が迅速かつ、容易で自動的に解消されるようになります。

Absa Bank サービス保証・運用部門長 Kevin Kay 氏

スムーズで優れた設計と信頼できるエクスペリエンスを提供するため、当行は任意の特定ポイントでシステムがどのように動作しているのか、また特定の問題が特定のお客様にどのような影響をもたらすかを正確に知る必要があります。CA の APM とインフラストラクチャ管理ソリューションを導入することで、不完全な顧客エク

スペリエンスがどのシステム・コンポーネントに起因しているのか、お客様にはどのような影響が及ぶのか、そしてその解決法を素早く知ることができます。当行のデジタル・チャネルすべてにわたるお客様の行動を理解することによって、継続的にインタフェース・デザインに磨きをかけ、顧客エクスペリエンスを改善することができます。

企業がオンプレミスのアプリケーションとクラウド・サービスとの統合に注目するなか、CA APM のクラウド・コネクタは先進的な技術の導入を可能にする柔軟性を DevOps チームに与えます。Docker、Nginx、および RabbitMQ の拡張機能は、[CA APM Marketplace](#) から適宜ダウンロードすることができます。CA APM は [AWS Marketplace](#) から使用量ベースのライセンスも提供されており、短期間プロジェクトのアプリケーション・パフォーマンス・モニタリングに使用し、デマンドベースでスケールアップまたはスケールダウンすることができます。

アプリケーション・パフォーマンスと持続的テスト機能を組み合わせることで問題を早期に解決

リリース・サイクルを加速するため、CA は先進的なオープンソース・ベースの継続的アプリケーション・パフォーマンス・テスト・ソリューションに CA APM の統合機能が追加された [CA BlazeMeter \(R\)](#) を発表しました。CA BlazeMeter と CA APM との統合によって、開発者はアプリケーション・パフォーマンスの詳細に関連するユーザ・エクスペリエンスを予測し、顧客エクスペリエンスに影響が出る前に潜在的なパフォーマンス上の問題を特定することができます。

従来型、ハイブリッド・クラウド、およびソフトウェア定義型データセンター・アーキテクチャとの協調で運用が可能に

CA は、[CA Performance Management](#) によって、[CA Virtual Network Assurance](#) を強化することが可能になり、Cisco ACI、Juniper Networks Contrail、OpenContrail、Nokia Nuage、OpenDaylight、OpenStack、および VMware NSX などのソフトウェア定義型ネットワーク (SDN) とクラウド・アーキテクチャに対する広範囲にわたるサポートを提供します。これらが一体となって、低コストで高度なスケーラビリティを達成するための最も包括的なネットワーク/アナリティクス・プラットフォームに、最新のネットワーク・パフォーマンスとビジネス・サービスの完全性に関する簡便なインサイトが加わります。

Enterprise Management Associates シニア・アナリスト Shamus McGillicuddy 氏

企業各社は、デジタル・イニシアチブをサポートするために必要なネットワークの変革を進めるにつれて、運用面の複雑さを生じさせることなく SDN や既存環境をフルにサポートできるモニタリング・ツールを必要としています。CA は、CA Performance Management と CA Virtual Network Assurance を提供することによって包括的かつ高いスケーラビリティを有するソリューションを提供し、ネットワーク運用においてハイブリッド・クラウドとソフトウェア定義データセンターのアーキテクチャを支える複雑なネットワークをモニタリングし、トラブルシューティングを行えるようにしました。

アプリケーション・ライフサイクル全般にわたるソフトウェアの継続的デリバリと継続的統合を実現する追加の CA DevOps ソリューションも、今回の CA World で公開されます。これらのソリューションは、市場のシフトや運用上のニーズを感知、反応、適応する能力を企業に提供し、その結果として強力な DevOps の実践に対して敏しように性というメリットをもたらします。

CA App Experience Analytics は、[無償トライアル版](#)をダウンロードしていただくことができます。

参考資料

- [CA World Online Press Room](#)
- [Successful Network Operations in a Cloud-Centric, Software-Defined World with CA Performance Management](#)

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<<http://www.ca.com/us.html>>(米 CA Technologies)、<<http://www.ca.com/jp>> (日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

***本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。**

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115
e-mail: CA@pr-tocs.co.jp